

高速道路は、
車と一緒に夢や笑顔も
走っている。

日本の高速道路の総延長距離は、都市部の自動車専用道路を除くと約9,500km。
そこを1日に約756万台、年間では延べ27億6千万台の車両が利用しています。
それぞれの車両の行き先や目的、走行距離は文字通り千差万別です。

都会の青果市場に向けて早朝に野菜を運ぶ農家の老夫婦が操る軽トラック。
離島に届けるために原油を満載にして走るタンクローリーの重々しいホイールノイズ。
久しぶりの里帰りで初孫を連れて実家に向かう家族の笑顔あふれるワンボックスの車内。
皆それぞれの目的と思いを持ちながら、ハンドルを握っています。

私たちの役目は、そんな千差万別のドライバーたち全員に
安全・快適に高速道路を走ってもらうこと。
目的地に到着した時は、すべてのドライバーに笑顔になってほしい。
そんな願いを込めながら、今日もまた一歩ずつ高速道路を進化させています。



株式会社NEXCOシステムズ

〒163-6025 東京都新宿区西新宿6丁目8番1号 住友不動産新宿オークタワー25階
TEL: 03-6901-5111(代表) 総務部 人事課 採用担当 ※ 問い合わせ受付時間/9:00~17:00
URL: <https://www.nexco-sys.co.jp/> E-mail: recruit@nexco-sys.co.jp

日本の 大動脈を ITで支える 仕事。



株式会社NEXCOシステムズ

NEXCOシステムズの経営姿勢

IT環境の時代の変化に迅速かつ柔軟に対応して、NEXCOグループ各社のビジネスパートナーとしてふさわしい資質を備え、各社のIT戦略を支援します。

提案型企業へ



経営理念

私たち、NEXCOシステムズは、料金系基幹システム等における長年の運用経験や情報処理技術の蓄積に基づく最適なITソリューションを提供することにより、高速道路事業の円滑な運営と効率化に貢献します。

経営方針

- NEXCO3社及びグループ会社の負託に応え、現場に精通したシステムの提案・開発・運用・保守を提供し、高速道路事業に貢献します。
- サービスの品質及び生産性の向上に努めます。
- IT企業の最も重要な財産である人材の育成に努めます。
- 社員一人ひとりが働く喜びを実感できる企業風土を築きます。

中期経営計画（2016 - 2020）

I

業務執行力の強化
によりQCD（品質、
原価、納期）の確保

社員一人ひとりが日々技術力を磨き、責任をもって仕事を確実にやり抜く力を身に付けられるよう戦略的に人材の育成を図るとともに、組織としてのガバナンスやマネジメントを強化して業務執行力を高め、QCDを確保します。

II

最適なITソリューション
の提案による事業領域
の更なる拡大

IT技術の進化に対応して最先端の技術を社内に吸収し、社員もまた変革（イノベーション）を追求し続けることにより、NEXCOグループ各社に最適なITソリューションを提案して、そのニーズに的確に応えていきます。

III

コンプライアンス
徹底の
継続的な取り組み

高速道路事業の一翼を担う、NEXCOグループ唯一のIT専門会社として、社員一人ひとりが法令や社会規範（企業理念を含む）を遵守し、自覚と矜持を持って行動することにより、社会の要請に応えていきます。

施策方針

01.

最適なITソリューション
の提案

NEXCO基幹系システムの開発、運用業務、計数管理業務を着実に実施し、NEXCO業務の生産性向上や省力化につながる最適なITソリューションを提案します。

02.

人材育成
の強化

最適なITソリューションの提案、研究開発の推進、生産性・業務遂行力の向上を支える人材の育成を目指し、最先端のIT技術、セキュリティなどの教育、研修を計画的に実施するとともに高度資格保有者を増加させます。

03.

研究開発
の推進

NEXCOグループの生産性向上、業務の高度化に向けたIT戦略を支援できるよう、最新のIT技術に関する調査研究を行います。また、高速道路をご利用されるお客様の更なる利便性向上や事業領域の拡大を目指した研究開発も進めます。

04.

業務効率化による
生産性向上

社内業務効率化のため、現状の業務プロセスを検証し、IT技術を利用したシステム化などによる省力化及びヒューマンエラーを防止するとともにQCDを確保しながら生産性の向上を目指します。

05.

コンプライアンス意識
の定着と徹底

社員一人ひとりがコンプライアンス意識を継続的に醸成し、定着と徹底を図ります。

私たちは、 NEXCOグループ 唯一のIT企業です。

自動ブレーキ、レーンキープアシスト、追従型クルーズコントロール、完全自動運転…。ひと昔前にはSF映画の中で夢のように語られていた「スマートカー」は既に多くが実用化され、快適なクルマ社会の実現に貢献しています。そして今、クルマが走る高速道路にも「スマートウェイ」が求められています。管制システムの普及に加え、VICSやETCが標準化され、近い将来には走行中のクルマと高速道路がリアルタイムに情報を交換し、渋滞や事故情報を分析・予測するITS（Intelligent Transport Systems）がより安全な走行を支援するでしょう。NEXCOグループ唯一のIT企業であるNEXCOシステムズは、グループが展開する高速道路の様々な技術をバックヤードで支えるのが最大のミッション。世界一と言われる日本の高速道路の円滑な運用と安全をITで支え、日本の交通インフラの発展に貢献しています。



日本の交通技術を 私たちのチカラで支えていく。

Way of The Work

NEXCOシステムズの最前線で活躍する社員のメッセージを通じて、この組織で働くことの意義や職務の達成感をご紹介します。

料金システム 開発業務

NEXCO3社が運営する高速道路の料金収入や交通量などに関するシステムの開発を実施しています。

料金システム 運用保守業務

高速道路事業の根幹をなす 料金収入や交通量などに関する各種システムの運用、保守を実施しています。

情報システム 開発業務

NEXCO3社の情報システム、基幹系システムの提案・開発・構築に関する業務を実施しています。

情報システム 運用保守業務

NEXCO3社の従業員が利用する情報システムや基幹系システム、ネットワークの運用・保守・監視を実施しています。

NEXCO グループ クリエイティブ ソリューション

NEXCOグループ各社の基幹系業務システム開発・運用や、クラウドサービスの提供、IT導入コンサルティングも行っています。

「道路インフラのフィールドで、ITの知識やスキルを活かした仕事を通じ社会貢献をしたい」。

NEXCOシステムズの社員が仕事のモチベーションとして異口同音に語るのは、そんな一文に集約されます。

しかし、現場ではすべての業務がシナリオ通りに進行することはありません。

大小の難題や想定外の失敗に頭を悩ませたり、自分の力量不足に失望することもあるかも知れません。

その難局を克服し代価として得られるものは、言葉にできないような達成感と劇的な成長曲線。

ここでご紹介する社員のコメントを通じ、NEXCOシステムズで追求するあなたの自己実現をイメージしてください。

その道に快適を。その道に安全を。

ITが貢献する、明日の道づくり。

クルマ社会の日本では、高速道路が重要な交通インフラとして位置づけられています。

ITの進化によって高速道路も年々進化し、渋滞や事故の低減や快適な走行が実現しています。

当社も様々な分野で新しい技術やサービスを通じて進化に貢献しています。

ここではそのいくつかをBefore - Afterのスタイルでご紹介しましょう。

01. 都心部の渋滞を避け 約束の時間までに 届けたい。

様々な料金制度に対応できるシステムを構築する

都心部を利用した通行料金と、都心部を迂回利用した通行料金では「都心部を利用した料金の方が安価」という違いがありました。そのためより安価な都心部に交通量が集中し、物流等の交通流動に影響を与えていました。そこで「首都圏の高速道路を賢く使うための料金体系」「近畿圏の高速道路を賢く使うための料金体系」が検討されていました。

Before

After

都心部に集中する交通量を緩和するために、高速道路を迂回した時に通行利用が料金面で不利にならないよう施策を検討。通行料金を緩和する迂回利用をより賢く使う料金体系を実現するために、システムを新たに構築しました。その結果、都心部に集中していた渋滞の緩和を実現するための一部に貢献しました。

シームレス料金が
渋滞緩和に貢献

02. 新たなサーバを 導入するのは、 設定も管理も大変。

膨大で多様なデータ管理の最適化をリードする

新しいシステムを導入しようとする、サーバを購入しソフトウェアをインストールして利用・運用する形態が一般的でした。サーバの購入と維持が負担となり、資産管理もしていかななくてはなりません。また、それを運用していくためには、ハードウェアのメンテナンスも欠かせず、専門の技術スキルを持った担当者を置いておく必要もありました。

Before

After

クラウド型のシステムではハードウェアの購入費は必要なくなり、ハードの保守・運用はサービス提供会社が行うため、保守・運用コストも必要なくなります。さらに、万が一故障した場合、多くがバックアップシステムを保有しているため、すぐに復旧可能と考えられます。また、好きな時に好きなだけリソースを利用できるため、急激にアクセス数が増えたとしてもハードの増築は不要なので、すぐに対応可能となりました。

クラウド環境で
システムを構築

03. 事故が起きた時、 もしもっと迅速に 現場に行けたら。

既成概念にとらわれない新しいアイデアをアウトプットする

高速道路に事故や落し物などのトラブルはつきもの。その事後処理では以前は報告書を紙に手書きでメモを取り、センターに戻って報告書にまとめ直していたため、二度手間ミスも多く、またせっかく集めた貴重なデータも検索性に乏しくあまり活かされていませんでした。そこでビッグデータを有効活用し、事故や渋滞の予測ができないか検討されました。

Before

After

高速道路のパトロール隊員はNEXCOシステムズが開発した「パトレコ」をタブレットにインストールし、常備しています。事故や落し物などのトラブルを現場で「パトレコ」に記録しビッグデータ化。事故や渋滞の予測などに役立て、安全で快適な走行の提供に貢献しています。

アプリ「パトレコ」で
ビッグデータを解析

01 料金系基幹システム 開発／運用

料金系業務のシステム開発

高速道路料金システムの未来を創る

〈新しい料金制度に対応できるシステムを開発する〉

NEXCO3会社が管轄する高速道路の通行台数と料金収入を集約し統計化するシステムや、インターチェンジ間の通行料金やETCで走行した通行料金を割引計算するシステムの開発や改修を行っています。これらのシステムは公共性が高く正確性が求められるためNEXCO3会社と緊密に連携することで、よりの確なシステムを開発しています。また、長年にわたり蓄積した料金系業務の知識を活用し、高速道路を走行されるお客様が簡単に便利に利用できるスマートフォン向けアプリの研究も行っています。このように、私たちの業務は、NEXCO3会社の料金系業務をITの力で支える大変やりがいのある仕事です。

業務実績 >>>>

高速道路の指定区間が一定期間・定額で
乗り放題になるETC企画割引のシステム開発

NEXCOの高速道路と首都高速道路または
阪神高速道路をETCで連続走行した際に通行
料金を通算して請求するためのシステム開発

高速道路の走行情報から交通量や
料金収入を分析するためのシステム開発

料金系業務システムのサーバ等機器の
リプレイス対応



ETC企画割引検索システム

料金系(料金計算・請求・統計)システム運用業務

日々の高速道路料金の計算、請求を支える

〈様々な料金割引や、通行止による請求金額変更などに対応する〉

NEXCO3会社が管轄する高速道路の新規開通に伴う通行料金の作成及び、ETCの割引制度に対応するための通行料金を作成する業務。また作成した通行料金を料金所ごとに登録する業務。以上の業務を行うことで、高速道路を利用するお客様が料金所を通過(支払い)される時に利用区間に応じた通行料金が表示(請求)されます。NEXCO3会社が管轄する高速道路の交通量集計及び通行料金収入の集計など統計資料の作成業務。ETCなどで走行されたお客様への請求のもととなるデータ作成業務。料金系システムを運用するサーバ機器等の監視業務も行っています。

業務実績 >>>>

通行料金計算業務

料金所への通行料金登録業務

統計資料作成業務
(交通量・料金収入)

通行料金請求業務

料金系システムを運用する
サーバ機器等の監視業務



通行料金検索システム

料金システム開発

たとえば新路線開通に伴う
システム改修。開発現場を動かすのは、
大動脈を支える不動の使命感。

Q. 料金システム開発業務に必要な
「素養・スキル・知識」は何ですか？

ITスキル以上に人間力、周囲の人を巻き込んで物事を遂行する能力が求められます。料金システムは特殊な領域で、開発に必要な知見は経験者の方がより深く、詳しく持っています。新路線の開通に伴うシステム改修、NEXCOと首都高とのシームレス割引適用に伴う新規システム開発など、新規案件が立ち上がるたびに周囲に積極的に質問しながら開発を進めることになります。また開発はプロジェクト単位で行い、入社後数年の早い段階でプロジェクトリーダーを任されるので、メンバーや関係部署と連携するチームワークも不可欠です。開発経験を積み重ねるほど、ほかにはないノウハウと人間力が磨かれます。高速道路は日本の全国を網羅する巨大インフラです。料金所の開設や新たな割引施策の導入に伴い、システムの改修や新規開発が必要になった時が私たちの出番。開発に際してはレビューとテストを重ねて万全を期しています。ニュースで開通情報を耳にした時、この上ない達成感を感じます。



Way of The Work

目の前の小さな課題解決が全長約9,500kmのネットワークを活かす大きな成果につながる。そんな俯瞰の視座を忘れぬよう、心に日本地図を広げている。

石垣 憲人 Norito ISHIGAKI

料金システム開発部
2016年入社

料金システム運用保守

画期的な料金プランの実現も視野に、
750万台が織りなす
ビッグデータと向き合う日々。

Q. 料金システム運用部の業務内容と
ご自身の仕事内容は？

全国の高速道路の交通量や料金収入の統計・集計などの運用業務を行う部門です。その中で私は料金計算業務を担当しています。たとえば、料金所の開設に際して、NEXCOが利用促進に向けて期間限定の割引施策の導入を計画している場合、通行料などのデータをもとに現行システムの範囲内で対応可能か、それともシステム改修が必要かを考えます。改修が必要と判断すれば開発部門と連携して客先に提案を行う場合もあります。単なる集計・計算レベルで終わらないところが運用業務の難しさであり、面白さです。料金施策はしばしば改訂されるので、その都度、様々な角度から知恵を絞っています。近年ではインバウンドの増加によって外国人専用の割引プランも登場。もちろん導入に際しては、日数など与えられた要件をどうすれば実現できるか知恵を絞りました。今後も料金施策の多様化によって当社に求められる運用の幅も広がり、私たちの業務の可能性もさらに大きくふくらむでしょう。楽しみです。



Way of The Work

高速道路の交通量は1日750万台。たった10円のミスが、億単位の損失につながる。億分の一のミスも許さない。その気概を、片時も忘れない。

木方 瑞輝 Mizuki KIH

料金システム運用部
2014年入社

02. 情報システム 開発／運用保守



情報システム開発業務

情報システムを一新する壮大な「最適化プロジェクト」に挑む 〈新経理関連システム開発業務等〉

NEXCO3社の経営から求められる情報システムの全体最適化方針に基づき、現行経理システムを一新する新経理システムの開発を行っています。システム化構想では、経理業務プロセスやシステム構成を抜本的に見直しして、将来の理想像を実現する施策検討に取り組みました。次世代海外ERPパッケージを選定し、業務の標準化及び集約を進めるとともに、経理業務フローに付随する書類、情報の流れをワークフロー化することによって、業務の大幅なスピードアップを図っています。また、これらのシステムはクラウド上に構築するので、システム管理作業の負荷軽減が可能です。



業務実績 >>>

新経理関連システム開発業務	次世代交通管理システム開発業務
ワークフローシステム開発業務	文書検索システム導入業務
業務自動化(RPA)システム導入業務	情報セキュリティシステム更新業務

情報システム総合運用管理業務

NEXCOの身近なエンジニア

〈お客様第一にシステム稼働の監視から問い合わせ対応、問題解決に取り組む〉

NEXCOの最も身近なシステムエンジニアとして、長年培った経験をもとに、NEXCO各社のIT基盤を統括している情報システム部門におけるシステム化計画やセキュリティ対策の相談、システム利用者であるNEXCO社員の方からの問い合わせ対応から問題解決に至るまで、当社の技術力を生かして様々なサポートや提案を行っています。また、財務・会計、人事・給与などの基幹システムの運用や保守をはじめ、メール、インターネットなどの社内ITシステムを常に監視し、障害発生時にはいち早く復旧させるなど、NEXCOのIT基盤を支える存在です。パートナーであるNEXCO社員の方からの、「ありがとう」の言葉が何よりも嬉しく励みになるやりがいのある業務です。



業務実績 >>>

PCや社内システムの利用方法サポート	新たなセキュリティ対策の提案
法律の改正等に伴うプログラム改修	人事異動や修正プログラムの適用などに伴うシステム変更作業
システムの監視と迅速な異常検知	システム障害発生時の原因調査、復旧作業

情報システム開発

5ヶ年計画で情報インフラを刷新。 15年に1度のビッグプロジェクトを 平常心で率いる。

Q. 「情報システム最適化プロジェクト」とは？

2007年の民営化時に構築されたNEXCO中日本の情報システムを全面的に更新するという、15年に1度の壮大なプロジェクトです。補修計画・構造物点検・渋滞予測など土木関係を中心とする必須システムから、経理や人事といった管理部門のシステムまで5年がかりで全て入れ替えます。私はその責任者を任されています。求められるスキルは、IT知識は当然として、幅広い人脈と調整能力、それに土木・建築・料金収受といったNEXCO中日本の業務知識が求められます。そして何より大切なのは安全に対する意識です。不測の事故を誘発する要因を断固として見逃さないという強い意識が必要です。課題の中には、自動運転に道路側はどう対応すればいいか？AIを活用して道路やトンネルの修復ポイントは予測できないか？渋滞予測システムを実現できないか？など、高速道路のスマート化をにらんだ次世代のテーマが多数含まれています。答えがない課題もあるでしょうが、次を担う人に挑戦してほしいと思っています。



Way of The Work

この仕事に必要なのは理解力、説得力、調整力。実は社長の受け売りなのだが、本当にそう思う。ヒューマンスキルこそが、最強だ。

柿木 賢一郎 Kenichiro KAKINOKI

情報システム開発部 サブリーダー
2006年 キャリア入社

情報システム運用保守



Way of The Work

クロスチェック、レビュー、綿密な検証を重ね、お客様への“報連相”を徹底。絶対にオペレーションミスを起こさないという決意を胸に。

長縄 陽平 Yohei NAGANAWA

大阪支店 運用課
2010年入社

24時間365日、片時もシステムを 止めてはならない。使命を共有する 同志として、顧客の要望をカタチに。

Q. 現在の業務内容の中で特に力を入れていることは？

大阪支店運用課は、NEXCO西日本の社内で利用されているネットワーク、メールや掲示板といったグループウェア、就業管理システムなど、業務の基盤となるシステムの運用管理を行っています。その中で私はアクティブディレクトリやファイルサーバといった基幹系システムの運用管理を担当。特に力を入れているのはセキュリティ対策の強化です。PCをアクティブディレクトリに登録、パスワードや認証システム、さらに別拠点でもデータを管理するなど、冗長性確保も含めた二重三重の安全対策を実施。業務システムの安定稼働を維持し、外部の侵入を防ぐ堅牢な環境を構築しています。セキュリティ対策は先手必勝です。ある時、セキュリティ機関の出しているリスク情報をお客様に説明し、システムに必要な対策を施したところ、1台のPCにウイルス感染の形跡を発見。もし対策を見送っていたら社内の広範囲に被害が拡大していたかもしれないと、感謝の言葉をいただきました。そんな時がやりがいを実感する瞬間です。

03. NEXCOグループ クリエイティブ ソリューション

グループ会社ソリューション

グループ会社80社のITソリューションを実践

〈IT導入コンサルティング・新商品開発〉

高速道路を利用するお客様向けのアプリケーション提案、グループ会社の情報セキュリティソリューションや人事管理システム、販売システムの開発まで、様々なITソリューションを提案しています。IoTやAIの活用など、ITの進化を常にアップデートし、お客様に最適なソリューションの提案を目指しています。

業務実績 >>>

パトレコ:
高速道路パトロール業務を支援する
交通巡回記録システムの開発・運用

N-Ship:
高速道路関連会社の人事・勤務管理、
収支管理等の総合管理システムの提供

**サービスエリア・パーキングエリアの
販売管理・店舗管理システムの開発・運用**

セキュリティドクター:
情報管理状況の診断ソリューション

高速道路のモバイルオーダーアプリ「Fika」

高速道路の休憩を無駄なく快適に!を目指したスマートフォンのモバイルオーダーアプリ。SA/PAのインバウンド対策の活用を想定した多言語対応であり、東京オリンピックに向けて2020年春にサービスを開始する。お客様は注文渋滞に並ばず、座席に居ながらスマートフォンで注文・決済ができる。トッピングやサイドメニュー、食後のデザート・ドリンクまで表示され、客単価UPが期待できる。キャッシュレス機能やGPSチェックイン機能によってスムーズなSA/PA利用を促進し、その他機能としてアレルギー表示機能などもある。言語別売り上げ分析も可能であり、訪日客に好評なメニューを把握でき、新商品の開発にも活用できる。



NEXCOグループ支援

情報セキュリティの“専門医”として、
IT環境の安全性を診断し、
適切なソリューションを実践。

Q. 関連事業部の業務内容と
ご自身の仕事内容とは?



Way of The Work

ご相談を受けた時に、「わかりません」では通らない。セキュリティのプロの証として、個人情報保護士など、資格取得にも取り組んでいる。

丸川 智恵 Chie MARUKAWA

関連事業部
2011年入社

日本の高速道路網は約80社のNEXCOグループ会社の総合力によって支えられています。グループ会社に対し、必要なシステムの提案、提供、開発運用支援を行うのが関連事業部です。私はセキュリティ対策を提案するチームに属し、必要と判断したソリューションの導入・浸透を図るコンサルティング業務に携わっています。もしグループ会社で情報漏えいなどの重大なインシデントが起これば、影響はその1社にとどまらず、グループ全体に及びます。そんな事態を未然に防ぐため、グループ唯一のIT企業として、規定の見直しや監査など、様々な角度からセキュリティ対策の重要性を訴えています。グループ会社の情報セキュリティに対する姿勢は会社によって温度差があり、中には10年以上も前に制定した規定や基準書をそのまま使っている会社もあります。そうしたグループ会社に出向いて現状に即した見直しを提案し、講習会を実施。実際のサイバー犯罪事例なども交えながら社員のみなさんへ周知徹底を図っています。

企業を支えるものは人材。 私たちは人を大事にし、育てる企業です。

教育研修制度

NEXCOシステムズは、IT企業の最も重要な財産である人材の育成に努めています。
出身の文系理系を問わず、知識ゼロの状態からプロの技術者を育成する万全の体制が整っています。

新入社員研修

新入社員のみなさんは人間関係や業務知識の面で最初は特に不安に思うことも多いはず。研修制度や同期社員との交流、先輩社員のバックアップなど安心して会社で活躍していただくためのプログラムを用意して新入社員のみなさんをお待ちしています。

ビジネスマナー研修・IT技術研修（入社3ヶ月）

入社されたみなさんにはまず当社のことを知ってもらうために、社内の部署ごとの業務内容や、NEXCOシステムズの社員としてのルールについて説明を行います。懇親会や先輩社員と語る会も併せて実施し、同期や先輩社員と交流を深める機会もあります。社会人として必要となるビジネスマナーや仕事の進め方など基礎的な研修を数日間行い、6月末までの約3ヶ月間はIT技術に関する研修を実施します。ITの専門用語の解説などの基本的な知識の習得から始まり、設計書作成、プログラミング、システム開発演習と段階を踏んで着実に実力を付けられるような研修となっています。

フォローアップ研修（10月）

入社時に比べ、仕事のイメージが掴めてきた時期に、半年間の振り返りと今後の目標設定を行います。半年間で経験した内容を踏まえ、同期や講師の方と交流しながら振り返り、3年後や5年後の目標を立てる研修となっています。

高速道路施設現場見学

NEXCOグループの方がどのような仕事をされているのか、当社が開発したシステムがどのように使われているのか、自分の目で見てもらうために高速道路施設現場見学を実施しています。2017年度では中日本高速道路株式会社の横浜保全サービスセンターと海老名サービスエリア、東日本高速道路株式会社の東京湾アクアラインの海ほたるへ見学に行きました。



新入社員研修



フォローアップ研修



高速道路施設現場見学

専門技術研修 資格取得研修

当社は、各部署で必要となる知識習得のための研修や資格取得のための研修を受講できる環境を整えています。また、これらの研修とは別に、年間4講座まで自身が希望する外部研修を受講することもできます。

資格取得支援

社外研修への参加や資格取得をしたい社員には、会社が参加・受験資金援助など様々な支援をしています。高度資格や国家資格の合格者も例年誕生しており、実際の業務でも活かされています。

年間資格合格状況（2018年）

高度資格		其他国家資格		ベンダ資格	
ITサービスマネージャ	2	応用情報技術者	1	AWS認定(アソシエイトレベル)	2
プロジェクトマネージャ	2	基本情報技術者	4	ORACLE MASTER Silver	2
情報処理安全確保支援士試験	4	技術士	1	ORACLE MASTER Bronze	1
システムアーキテクト	1	情報セキュリティマネジメント	3		
ネットワークスペシャリスト	2	ITパスポート	12		

システム技術に関する資格

それぞれの難易度により、1万円～20万円の奨励金支給があります。
▶ 情報処理推進機構、オラクル、シスコ、マイクロソフトが実施する試験など

事務系の資格

それぞれの難易度により、1万円～20万円の奨励金支給があります。
▶ 日商簿記検定、マイクロソフトオフィススペシャリスト、ビジネス実務法務検定など

奨励金対象資格
技術系・事務系合わせて

79 資格

海外視察研修

世界の最先端の高速道路技術を学ぶため、海外視察研修も積極的に行っています。
技術革新が進展し、求められる業務の質や内容が大きく変わろうとしている現状の中、ITの最新トレンドを探っています。

Microsoft	Amazon	TOMTOM
現実と仮想空間を融合したMR※1技術を病院に活用したデモを体験しました。MRグラスを装着することで、器具をつまんで配置したり、医師同士の術前打ち合わせを視覚的に行うことができるなど、あたかも本物の手術室の中にいるかのような感覚でした。 ※1 CGなどを用いて現実世界と仮想世界を融合させた世界を作る技術 3Dプリンター、タブレット端末など、Microsoft社の製品展示を見学	レジのない店「Amazon Go」が社員向けに試用されています。スマートフォンのQRコードを改札に通し入店し、欲しい商品を手に取り店を出るだけ。後日アプリにレシートが届きクレジット決済されます。これは店内に設置された無数のカメラとマイクで客・商品を常に記録し実現しています。即座に買い物が完了し、驚きでした。 歴代のKindleが展示されたAmazon社のロビー	世界地図大手3社の一つ、TOMTOM社の地図開発拠点（ポーランド&ドイツ）を訪れました。様々なレーザーを搭載した情報収集車や提携している自動車メーカーの車載器などから手に入るデータを集約し、AIを用いて3D地図を作製する工程の視察を行いました。また車載器やモバイル端末を利用して交通状況の予測なども行っていました。 TOMTOM社の3Dマップ用地図情報収集車
SAP	BATA	ERP（電子式道路課金）
ERP※2で有名なSAP社は、意外にも非ERPの売上げが約6割。夜間休憩を義務付けられているトラック運転手のために企業と協力し、従業員の帰宅後ガラ空きになった駐車場を予約制の休憩場所として提供するサービスを始めています。常に利用者目線で行動するスタンスに感銘を受けました。 ※2 企業の基幹業務（財務・会計・人事・給与など）を補佐するための業務システム SAP社員からデザイン思考について説明を受けている様子	有料橋の料金収受を行うBATA社は、交通渋滞に悩むサンフランシスコ市で、ETC、ナンバープレート画像認識を導入し料金収受での渋滞を解消しました。一部の橋においては収受員がいません。実際に相乗り専用車線を設けている箇所や、市内への車の流入を料金所の信号で調整している場面を見学し、日本との違いを学びました。 ETCやナンバープレート画像認識での料金収受方法について説明を受けた	「東南アジア各国の交通インフラ状況、道路事情を視察し、海外道路事業に関する理解を深める」というテーマで8名が海外視察。シンガポールの高速道路では、ERP（電子式道路課金）を用いて通行する場所や時間帯の課金を調整し、中央都市部への車両の流入を抑え渋滞を緩和する対策を採用。日本とは異なる方式の渋滞対策を学びました。 車両の課金を調整し交通量を抑制するERPのガントリー



普段が充実していないと
仕事も充実しません。

福利厚生制度

社員が生き生きと仕事に邁進できるよう
福利厚生制度を充実させています。



福利厚生倶楽部（リロクラブ）

株式会社リロクラブ提供の福利厚生倶楽部（通称：リロクラブ）に加入しています。各種宿泊施設、レジャー、スポーツ、ショッピング、グルメなどの余暇支援サービスや、育児、介護、健康など100,000を超える豊富なサービスを利用出来ます。



借り上げ社宅制度

一般の賃貸物件を会社で借り上げて、社員に社宅として提供しています。社宅にする物件は、築浅であること、セキュリティがしっかりしていること、通勤しやすい距離にあることなど、社員が安心して生活できる環境を考えて選定していますので、女性や、社会人になって初めて一人暮らしをする方にも好評です。



カフェテリアプラン

社員に一定のポイントを付与し、そのポイントの範囲で、旅行、ショッピング、食事、健康増進、自己啓発、生活支援、育児、介護費用などに使うことができます。各社員のライフスタイルやニーズに即した福利厚生メニューを自分で選択することが可能となります。年間付与ポイントは42,000ポイント（2018年度実績）で、1ポイント＝1円として利用できます。



関東ITソフトウェア健康保険組合（通称:ITS）

病気やケガで保険医療機関で治療を受けた場合に、法律で定められている給付（法定給付）に加えて、健康保険組合が独自で行う給付（付加給付）があります。また、健康増進のための各種スポーツ施設、コナミスポーツクラブ、ゴルフ場、ITS旅行パックなどを利用できます。

レクリエーション

普段の職場から離れ、組織の枠組みを超えた
レクリエーション活動を催しています。



登山

東京の高尾山への登山を開催。総勢16名が参加しました。日影沢から入山し、山頂を経て高尾山口へ無事下山。その後は温泉で汗を流し、ビールにてクールダウン。充実した登山となりました。



ボウリング大会

例年行われるボウリング大会は各拠点ごとに実施され、年末福利厚生行事として誰でも気軽に参加できる全社規模での福利厚生行事となりました。最高スコアは247というハイレベルな大会に。



テニス合宿

夏と冬に、テニス合宿を山中湖で開催しました。名古屋や横浜からも参加し、総勢12名、映える富士山を望み、澄んだ空気の中、笑顔で合宿を終えることができました。



ワーク・ライフ・バランス

ワーク・ライフ・バランスを支援する制度を積極的に導入しています。産休育休制度のほか、時間単位で取得可能な有給休暇の整備、祝日以外に取得できる休暇制度など、男女問わず長く快適に働いてもらえるようさまざまな制度を充実させています。

子育て支援と介護休業制度

■ 出産育児付加金とお祝金

本人又は被扶養者が出産した時に支給される「出産育児一時金」に加えて、関東ITソフトウェア健康保険組合より、「出産育児付加金」が給付されます。1児につき「出産育児一時金」42万円（産科医療補償制度対象分娩でない場合は39万円）に加えて、「出産育児付加金」9万円、また、会社からのお祝金として第1子2万円、第2子3万円、第3子以降5万円の支給があります。

■ 育児休業

1歳に満たない子を養育する社員は、1ヶ月単位で最長2年まで育児休業を取得することができます（就業規則による条件があります）。女性社員だけでなく、男性社員の取得実績があります。育児休業中の収入については、雇用保険から育児休業給付金が支給されます。また、産前産後休業中及び育児休業期間中の健康保険料、厚生年金保険料は免除されます。

■ 短時間勤務

小学校に就学するまでの子を養育する社員を対象に、勤務時間を1日最大2時間15分短縮することができます。また時間外勤務の免除・制限なども適用されます。

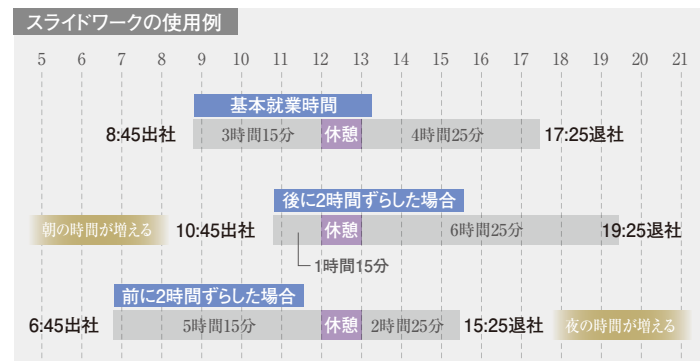
■ 介護休業

社員のご家族に介護が必要な場合、介護休業制度を利用できます（介護を要する家族1人につき通算93日間まで）。また短時間勤務や時間外勤務の免除・制限なども適用されます。介護休業中の収入については、雇用保険から介護休業給付金が支給されます。

スライドワーク [新しい取り組み]

■ 各社員の生活スタイルを考慮しながら出勤・退勤時間をずらすことができる制度

2018年7月から導入の「スライドワーク」は、出勤・退勤の時刻を定時から前後に2時間までずらすことができる新しい制度です。例えば定時の8時45分から2時間遅い10時45分に出勤した場合、退勤時刻は19時25分になります（定時は17時25分）。また逆に定時より早く出勤し、早く帰ることも可能です。「スライドワーク」によってよりフレキシブルな勤務が可能になり、社員個々の働きやすさが実現するでしょう（すべて担当業務に支障のない範囲が条件となります）。



NEXCOシステムズで描いていく、みなさんの「道」を教えてください。



NEXCO東日本グループ会社の管理や問合せ対応、セキュリティ・システム導入に伴う技術的支援などを担当。一般的なITの知識向上だけではなく、各グループ会社様の業務をもっと詳細に把握して、何に困っているのか本質を見抜き、グループ会社に最適な提案を実施し、道路事業へ貢献出来るような技術者になりたいです。

中西 僚樹 2015年入社
情報システム運用部



パトロール隊員が使う「パトレコ」の改修を担当しています。高速道路上という危険な状況下で利用するシステムなので、不具合を出さないという使命感を持って業務にあたっています。自身が担当した改修がリリースされ、問題なく稼働した時に達成感を感じています。10年後もエンジニアとして成長し続けたいです。

道上 裕介 2018年入社
関連事業部



NEXCOグループ各社のご要望や課題に対してチームの仲間と共に試行錯誤しながら達成し、お客様から感謝され、その達成感や喜びをチームで共有できる時が充実する時です。今自分を支えて頂いている上司になるために、IT技術の取得に加え、人・お金を管理する能力や将来の方向性を指示できる人物になりたいです。

帆足 直人 2008年入社
関連事業部



「ハイウェイ・マルチアプリ」の開発に関わっています。高速道路を利用するお客様にGPS機能を利用して現在地周辺の観光地を案内したり、現地のレストランや宿泊の予約ができるようなオールインワンアプリを目指しています。アプリがきっかけとなって高速道路を快適に利用していただければ嬉しいです。

奥山 稀未 2018年入社
料金システム運用部



エリア会社関連の業務や、グループ会社向けの情報セキュリティ関連業務を行っています。グループ会社を支援する業務を通じお客様に満足していただけの仕事ができるよう、日々経験を積んでいきたいと考えています。任せてもらえる仕事やできることが増えていくと嬉しく、自信にもつながります。

星野 千登世 2017年入社
関連事業部



NEXCO3社向けの経理システム（財務会計）の構築を担当しています。お客様の要望通りシステムが動作することは勿論のこと、効率良く使いやすいシステム開発を日々心掛けています。月日を掛けて構築したシステムがお客様で実際に使われ、システムに対しての良い感想、評価をもらえた時が喜びを感じる瞬間です。

荻原 翔 2015年入社
情報システム開発部



NEXCO西日本向けのワークフローシステムの開発業務の中で、運用者向けの操作マニュアルを作成しています。今は一つ一つの仕事を覚えていく、学ぶことに充実感を感じています。お客様と開発者の調整をしつつ、全員が満足できるシステムを作成していくためにたくさん経験を積んでいきたいと考えています。

荒船 愉子 2017年入社
情報システム開発部



高速道路におけるお客様の走行データに対し、各種割引を実施したり交通量の集計等の処理を行う「計数管理システム」の開発を担当しています。自分の携わったシステムが本運用され、安定稼働してきた時に達成感を感じます。誰にも負けない業務知識とスキル、折衝力を身につけ、業務を遂行する上で必要不可欠な人間を目標にしています。

太田 龍史 2010年入社
料金システム開発部



全国の高速道路で発生した走行データに対し、割引等の料金調整や交通量等の集計を行う「計数管理システム」の運用に携わっています。NEXCO3社や開発部門と連携し課題に取り組み、実現へ導いた時に大きな達成感を感じます。経験や業務知識に併せて、効率よく正確に業務を遂行できる人物になることが目標です。

青木 優 2017年入社
料金システム運用部

ワークライフバランス Interview

出産や育児をサポートするため、男女問わず全社をあげて産休育休の取得を推進しています。取得申請時には、給与面や復職後の評価、賞与の取り扱いの疑問や不安などをクリアにし、必要な場合には個別に質問会などの場も設けています。特に休業後の復職では、休業以前のキャリアを勘案し、なるべく本人の希望する職場に就けるよう留意しています。また時短勤務制度も用意され、無理のない範囲で確実に職場に復帰することができます。

制度取得者の声 富岡 慶太 2016年キャリア入社 関連事業部



上司から「是非取得した方が良い」との言葉をもらいました。

産休・育休制度を15週間取得しました。生後2ヶ月を待ってから妻の自宅から東京の住まいへ妻子を移動させ、同時に私も育児休業を取得しました。家庭では授乳やオムツ替え、寝かしつけなどほとんどの育児を私が担当していました。育児休業終盤では、待機児童が多い地域に住んでいるということもあり、1日に3つの園を見学するなど、数多くの保育園を巡りました。男性の育児休業取得者は少ない職場だったのですが、社内での反応は歓迎ムード。上司からも「是非取得した方が良い、応援する」と背中を押され、代わりとなる要員への引継ぎもスムーズに済ませる事ができ同僚の皆に感謝しています。

育児休業等の取得DATA

集計期間：2016～2018年度
対象者：妊娠・出産をされた女性社員の方
対象者数：6名

育児休業を取得した女性社員

100%

育児休業を取得後、現場復帰した女性社員

100%

全ての方が、出産時や出産後に退職することなく、現場復帰しています！